

おおいずみ
大阪府営 大泉 緑地ふれあいの庭

～誰もが五感を通じて、憩いや安らぎを
感じることができる庭～

ふれあいの庭は、大阪府営大泉緑地の一角にある面積0.2haほどの庭園で、日本で最初にユニバーサルデザインのコンセプトで造られた庭です。

五感を活用した公園づくり

・ユーザーニーズの集積

誰もが五感（音、香り、色、感触、味）を通じて憩いや安らぎを感じられるように、障害者等と身近に接している援助団体や研究者などのヒアリングの成果をベースとして、きめ細かな配慮がなされています。

・五感を通じて自然に親しむ公園づくり

施設全体をそれぞれにわけて特徴をもたせています。



エントランス・ゾーン

園内の幹線道路に面した花壇で、庭園の雰囲気、親しみやすさ、入口のわかりやすさを表現。また、触知案内板や音声案内により、視覚障害者に対して、利用法を伝えます。



トピアリー

植物をくりぬいて作られており、明暗の差により、弱視の人でもその雰囲気を味わうことができます。
トピアリー：模様や動物の形などに刈り込んだ樹木。



キッチンの庭

ハーブ、野菜など味覚に関する植物を集めた季節感のあるゾーン。実際に花や葉、実に触れて楽しむことができます。



香りの庭

ハーブを中心に、香りのする植物を集めて、香りにより、安らぎや季節感、爽快感を感じられるようにしたコーナーです。



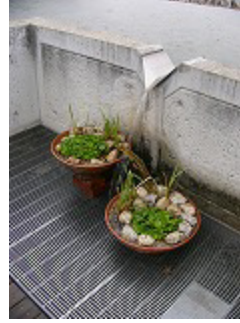
色の庭

階段状のボーダー花壇に、四季の彩り豊かな草花を植え、生け垣や芝生と調和するよう配色されており、目で楽しむことができます。



レイズドベッド

レイズドベッド（車いすに乗ったままでも触ることができる花壇）は、障害の度合いや体格の差を考慮し、高さを60～80cmと穏やかに変化させています。



音の庭

修景池の水や水性植物に触れたり、壁泉や水琴窟へきせん すいきんくつの水の音を楽しむ演出がされています。



庭園内のベンチ

（写真左）

ベンチは、脇に車いす用のスペースが設けられており、ベンチに座っている人と隣接できるようになっています。

（写真右）

通路脇に設置されているベンチは、視覚障害者の移動の妨げにならない配置になっています。

ふれあいの庭の取組

ふれあいの庭では、障害者、高齢者、健常者等が同じように利用することにより、お互いを理解し、交流することのできる公共空間を目指した取組を行っています。

そのためには、ユニバーサルデザイン仕様が施されている施設ということだけでなく、そこで展開されるソフトプログラムが充実していることも重要であり、ヒーリングガーデナーはその担い手となっています。

ヒーリングガーデナー

大阪府営公園では、『ヒーリングガーデナー』という府民のボランティアが活躍しています。

ヒーリングガーデナーは、障害者や高齢者等が公園で花や緑を楽しみ、生きがいを感じてもらうためのプログラムづくりやサポートを行っています。活動は、月1回程度、自らゲスト等を招いて公園の案内を行っています。

【連絡先等】

問い合わせ先) 大阪府南部公園事務所 工務課

所在地) 〒591-8022 大阪府堺市金岡町1-2-8

TEL) 072-259-8631 FAX) 072-259-8840